

モジャコ漁場調査

谷本 剛・湯浅明彦・吉岡拓也・三好亮徳・須原 修・
悦田 明・松本一樹・藤岡保史・渋江 文

ブリ稚魚（通称モジャコ）を養殖用の種苗として採捕するモジャコ漁が4月25日に解禁した。解禁に先立ち、流れ藻に蛸集するモジャコの来遊状況と漁場環境の調査を資源評価調査事業の一環として実施した。なお、解禁後に不漁が続く漁期が5月24日まで延長されたことから、第2回目の調査を実施した。

調査方法

4月24日及び5月22日に漁業調査船とくしま（鋼製80トン，1,200馬力）で、図1に示した調査コースを航走して流れ藻及び潮境を目視で探索し、調査コース上の流れ藻の分布状況を記録するとともに、比較的大きな流れ藻を網口9.5mのまき網を用いて採取した。採取した流れ藻は船上で重量を測定した後、付着しているモジャコ等の稚魚を分別した。採捕した稚魚は魚種を査定して個体数を計数し、モジャコは尾叉長と体重を測定した。また、航走中は古野電気製水温計T120-Eで表層水温を連続観測した。

調査結果

4月24日は29マイルを航走し、1箇所流れ藻を採集した。流れ藻は距岸10マイルまで確認されず、水温17.7の潮目上に散在していた。採集した流れ藻から尾叉長範囲29～138mm，平均102mm，体重範囲0.3～37.1g，平均17.4gのモジャコ23尾を採捕した。採捕したモジャコは、組成の87%が尾叉長80mm以上の大型魚であった。

5月22日は61マイルを航走し、4箇所流れ藻を採集した。流れ藻は距岸8マイルまで確認されず、それより沖合の潮目に小型の藻が点在していた。採集した流れ藻から尾叉長範囲42～88mm，平均56.2mm，体重範囲0.9～8.0g，平均2.9gのモジャコ5尾を採捕した。

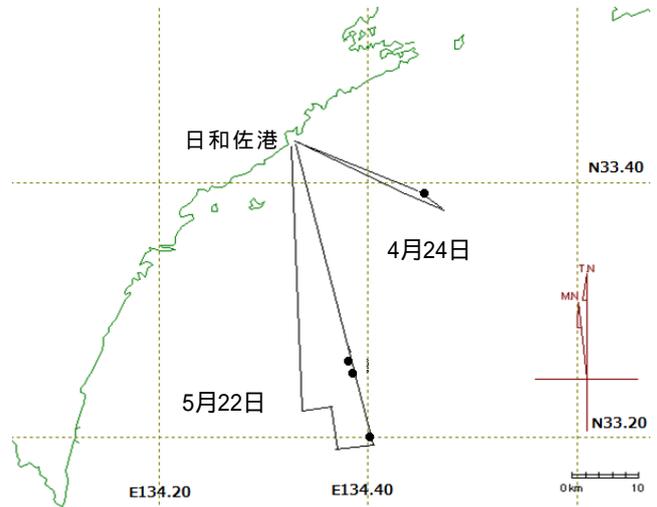


図1．モジャコ調査の航跡と流れ藻の採集地点
添え数字は表1の採集地点番号を示す

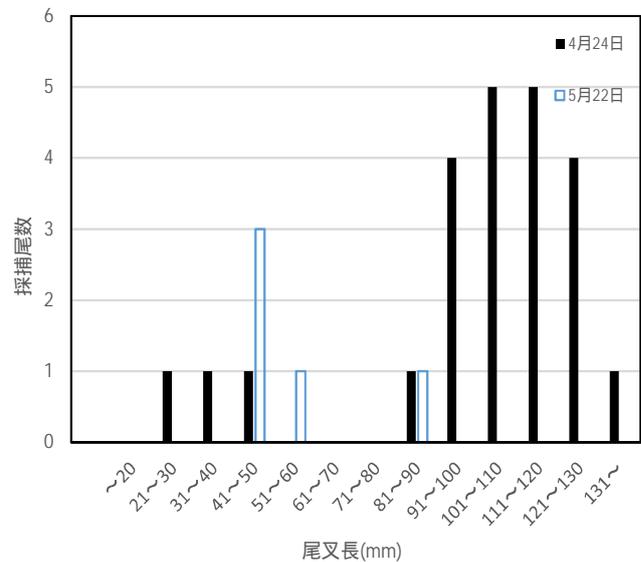


図2．採捕したモジャコの尾叉長組成

表1．流れ藻の採集地点とモジャコの採捕状況

採集日	採集地点	採集位置		表層水温 (°C)	採集した流れ藻		モジャコ採捕数	モジャコ尾叉長(mm)		モジャコ以外採捕数
		北緯	東経		直径(m)	湿重量(kg)		最小～最大	平均	
4/24	1	33° 39.41'	134° 44.78'	17.7	2.0	38.5	23	29～138	102.0	
	1	33° 19.301'	134° 40.952'	22.9	1.5	10.5	1	88	88.0	イシガキダイ 9
5/22	2	33° 25.342'	134° 39.304'	21.8	0.5	0.7	2	42～48	45.0	
	3	33° 25.342'	134° 39.304'	22.2	1.0	1.6	2	47～56	51.5	カンバチ 1
	4	33° 25.949'	134° 39.095'	22.5	1.5	3.7	0			